

# ハンドボール全日本総合

## 選手権大会で琉球コロンが躍進

皆さんは、日本ハンドボールリーグ(JHL)に沖縄のチームが活躍していることを存知でしょうか。その名も「琉球コロン」。

沖縄出身の東長濱秀吉監督をはじめ、エースの棚原良選手や、監督の息子でもある東長濱秀作選手など十七名の登録選手中九名の沖縄出身者が活躍しています。

沖縄以外では、東京、山梨、埼玉、茨城、岩手、大阪出身の選手が登録されており、沖縄県の浦添市をホームに練習に励んでいます。

現在のリーグ成績は男子九チーム中五位とラジオフ進出の四位以内を目指しています。

「コロンはスペイン語で「ハート」「心」「魂」の意味です。島人の沖縄から全国へ、そして世界へ、琉球魂を前面に出し、観客のハートを揺さぶるプレーで戦います。」(JHLホームページより)

### 全日本総合選手権大会は愛知県で

年の瀬もせまった二〇一四年、十二月二十七日(土)に全日本総合選手権大会の準決勝が愛知県体育館であり、私も琉球コロンと大同特殊鋼との試合を見に行くことになりました。

そのきっかけは、愛知沖縄県人会連合会の顧問相談役である、浜盛置則さんから電話があり、今経営する泡盛平国に東長濱監督が来店してくれている。しかも明日は準決勝というところなので、この活躍を是非とも県人会の中で紹介して欲しいと、喜び興奮した感の電話でした。

そんな沖縄のチームがあるとも知らない私は、たまたまその時間が空いていたため妻と二人で観戦に出かけることになり、県人会のLINEで「時間のある人は、ぜひ応援に」と呼びかけ、浜盛さん、松川副会長の家族など数名が「チバリヨ」の「フカド」に指笛を応援しました。

試合は序盤こそ、大同特殊鋼が先行しましたがコロンも追付き逆転するなど手に汗握る展開

### 私の戦争体験 ⑤

#### 黒島彦(知多郡阿久比町在住)

大阪で生まれ、両親の故郷、石垣島に疎開した時に九死に一生を得た黒島彦(ひろし)さん(八〇歳)が、昨年、在住の阿久比町の老人会で語った戦争体験を県人会の紙面でも紹介して頂ける事になりました。貴重な体験を5回に分けてお送り致して来ましたが、いよいよ今回が最終回になります。

ひろし少年と想いを一つにして戦争の愚かさやを共有し、二度と戦をしない国を創造しようではありませんか。

#### お墓の避難

最初の空襲から、二〇年四月以降、毎日飛行場には艦砲射撃、石垣町内の民家には二、三〇機の編隊で三三回も来襲し、爆弾投下や機銃掃射が激しさを増していき、ついに町外れにあるお墓に避難し、文字通りの墓穴生活となりました。まさか「先祖様の骨つぼと一緒に暮らすとは夢にも思いませんでした。

沖縄のお墓は亀甲墓と称して、中が三疊ほどの空間があり、艦載機グラマンやB29の空襲警報の際はお墓の中に避難が出来ました。B29の超低空飛行での機銃掃射では地面が地響きをし、機関銃の空葉きようがあられのように落ちてきて、その音や恐怖のため気が狂いそうにもなり、またパイロット席の下部にある照射席から機銃掃射をしている兵士がよく確認も出来ませんでした。

避難所のお墓への攻撃も激しさを増し、六月にはマリアア存在を承知で「住民は山へ避難せよ」との軍の命令が下り、全住民は山奥への疎開となりました。

### 山奥での二ヶ月間の避難生活

ほぼ二ヶ月の山奥での避難生活が始まりましたが、当時はハマダラ蚊が生息し、その蚊の媒体により大勢の住民がマリアアに罹り、バタ

で30分ハーフの後半試合終了間際、21対20で劣勢。残り40秒でコロンボールになり、更に残り10秒を切り、コロンも攻撃参加するパワープレーを敢行、直後にフリースローとなったところで、東長濱選手がシュートを決め同点に追いつきました。ヨッシャーと大喜びしたのも束の間、大同特殊鋼の早いリスタートから無人のゴールにボールがトントンと吸い込まれると同時にタイムアップ、惜しくも21対20で敗戦となりました。

こんなに興奮する試合は、久しぶりに見たなと思いつつ、昨年、興南高校が3冠を達成するなど沖縄のハンドボールはレベルが高いことが改めて良くなりました。

「コロン以外のチームにも多くの沖縄県出身者が活躍しています、これは女子リーグも同じです。是非応援してください。」

そしてリーグ戦での琉球コロンですが、4位以内のプレーオフ進出を掛けながら、愛知県では三月七日(土)にTGAリーナ「稲沢市朝府町5-1(0587-83-884) 名鉄名古屋本線国府宮駅から名鉄バス(矢倉観音行)「稲沢市役所」バス停下車、北西アピタ稲沢店方向へ徒歩8分まで豊田合成との試合が開催されます。問い合わせは豊田合成052-830-0888詳細は日本ハンドボールリーグのホームページを確認ください。

チバリヨー 琉球コロン! N

### 世界で初めて「サンゴ養殖に成功したウチナンチュ」

2014年12月20日、名古屋港水族館は「サンゴ」の海をリニアアルオープンさせました。その監修にあたった金城浩二さん(沖縄市出身)について紹介させていただきます。

氏は、幼小期から海が大好きで、じつと眺めていることを好む少年だったそうです。

そんな彼もやがて社会人となり、事業を興したのですが、現実的には厳しい状況下に至り、やむなく名古屋へ就業されました。



上江洲隆さん 筆者 金城浩二さん 金城美佐枝さん  
12月20日 名古屋港水族館にて

その際、改めて故郷の美しい海に思いを寄せ、再び沖縄へ帰郷。飲食店を開業するころ、幼馴染で良き理解者でもある美佐江さんと結婚。それと同時に、仕事が今までとは違つた風に変わったそうです。

ところが、抱えていた借金の完済と新店舗の開業にも拘わらず、突然、経営していた全ての事業をやめてしまい、大好きな海の再生に取り組みむようになったのです。

「この心境の変化には、自分が育つたころの沖縄の海がどんどん汚染され、そこに住む生き物たちも目に見えて減っていく危機感が、大きな原因になったそうです。」

「愛する妻と子供たちに、かつて自分が見ていた本海の海を見せたい。それを未だまで残して行きたい。それが自分の使命でもある。そんな沖縄の海を愛する気持ちから、これまでの生き方を大きく切り替えたのでした。これは、実話として映画に「ただかんかん」でも「買いただけます。」

今回、氏と直接お会いして感銘したのは、海洋学的に素人の彼が、どのような経緯を辿つて大成功したのか?内助の功となった妻の美佐江さん、子弟でもある上江洲さんのお考えも伺つて出来た点です。

### 終戦七〇年目 新年に黒島彦さんに聞く



黒島彦さん(80歳)  
知多郡阿久比町  
宮津山田の自宅にて

新年の一月四日(水)、知多郡阿久比町にある黒島彦さんの自宅を訪ねました。

閑静な住宅街、門の上に鎮座したシーサーが「うちだ」と教えてくれた自宅前で黒島さん「夫妻が迎えてくれました。」

今年、終戦七〇年を迎えるこの国は少年期に辛い過酷な想いをした黒島さんにはどのように映っているのかお聞きしたいと思ひ訪ねました。

「二〇一三年の八月に中日新聞の知多版に今回投稿して頂いた戦争体験が紹介された際にどのような変化がありましたか。」

黒島 友人知人から激励の電話や手紙を頂き、今年の八月にも阿久比町内で講演の依頼が来いています。

講演の依頼は、戦後七〇年を迎えるにあたっての事ですか。

黒島 いえいえ、本来は昨年講演する予定でしたが、私が病気で入院したこともあり今年になりました。

「これは神様が今年の戦後七〇年目にしなさいとの事ですかね(笑) 黒島 そうかももしれないですね(笑)。」

「今の平和な時代に想つことは、黒島戦争は公然とした殺り合い、

愛知沖縄県人会連合会 賛助会員随時募集中 ここから→

◇愛知沖縄県人会連合会から協賛広告募集◇  
2015年度の沖縄ガイド、会報、毛遊びの協賛広告を募集いたします。皆様方のご協力をお願い致します。

◇沖縄イベント情報◇  
★2015年 4月12日(日) 14:00開場 15:00開演  
— ゆいま— 琉球國祭り太鼓 愛知支部10周年記念公演  
場所 名古屋市芸術創造センター 名古屋市東区葵1-3-27  
全席指定 前売り2000円 当日2500円  
問い合わせ 090-4184-7601(愛知支部長 笹淵)  
★2015年 4月19日(日) 10:00~16:00 雨天時26日(日)  
第8回 おかざき沖縄まつり 岡崎市籠田町1 籠田(かごだ)公園一帯  
入場無料 ☎ 090-3568-27088(おかざき沖縄まつり実行委員会)

**愛知琉球エイサー太鼓連**  
会長 奥間 貴祐記  
E-mail taikoren\_8131@yahoo.co.jp  
URL http://www.geocities.jp/eisa\_taikoren  
「愛知エイサー」で検索! メンバー大募集中!

技術部長 砂川 盛一 SUNAKAWA SEIICHI  
LET'S CLEAN THE WORLD  
沖テック有限会社  
〒489-0875 愛知県瀬戸市山の田町43番389  
TEL(0561)89-5558  
FAX(0561)89-5538  
e-mail:okitech@poppy.ocn.ne.jp  
愛知県知事許可(般-20)第100393号  
HP http://www.oki-tech.co.jp

愛知 まいふなエイサー  
第十代会長 砂川 盛一 Sunakawa Seiti  
携帯: 080-5159-6689  
mail:sunakawa.0515@maill.com

酒場(泡盛)ぐらんでいぢや  
〒457-0047  
名古屋西区幅下2-5-1第2ビル1F  
営業時間 18:00~0:00 休み/日曜、祝日  
TEL 052-571-3780 ※名駅南にて3号店オープン

沖縄家庭料理 世界報 林久江  
〒473-0912 豊田市広町4丁目512  
TEL0565-52-4727 携帯090-7681-9387  
営業時間 17:00~24:00  
定休日 日曜日・第3月曜日

琉球民謡保存会・東海支部 山田文門民謡研究所  
教師 山田 文門  
〒460-0012 名古屋市中区千代田3丁目14-1  
TEL (052) 253-6190  
携帯 090-1414-9905